**平成26年度　第４回　大阪府環境審議会温暖化対策部会議事概要**

# 日　時：平成26年9月10日（水）午後３時～午後５時

# 場　所：大阪府咲洲庁舎２３階中会議室

# 議　事

（１）地球温暖化対策の検討事項と取組の方向性について　【資料１】

（２）ヒートアイランド対策の検討事項と取組の方向性について　【資料２】

（３）今後の温暖化対策について（報告素案）　【資料３】

（４）その他

# 4　委員からの意見要旨

## 地球温暖化対策の検討事項と取組の方向性について【資料１】

#### A)　スマートエネルギー協議会

* 省エネ住宅、省エネ家電、エコ給湯器に係る民間事業者は大阪スマートエネルギー協議会の中に入っていないので、スマートエネルギー協議会などこれら民間事業者と情報交換する機会を積極的に設けて欲しい。
* 民間事業者として大規模オフィスビルの開発などに係る事業者も入ってもらうと、個々の家庭だけでなく、業務に関係する情報収集や支援の協議検討ができると思う。
* 委員意見の総括として、実効性が上がるように、スマートエネルギー協議会メンバーの追加変更を積極的に検討してほしいということなので、その点を報告書の中に加えて頂きたい。

## ヒートアイランド対策の検討事項と取組の方向性について　【資料２】

#### A)　暑熱環境による人への影響に対する適応策について

○　適応策の内容については、できるだけ広い視点で記載する方が良い。

○　快適性では冬は良くなっていると見てしまうので、生活環境が悪化しているという整理をした方がよい。

○　ヒートアイランド対策はもともと夏場の対策でスタートしている。夏冬のエネルギー消費を上手にコントロールするという議論もあるが、夏場対策として議論しないと混乱する。

○　ヒートアイランド対策では夏の昼と夜を位置づけていることを踏まえ、焦点がぼけない表現にする。

## 今後の温暖化対策について（報告素案）【資料３】

### I　大阪府域における温暖化の状況等

#### A)　対策の推進にあたっての留意事項（地球温暖化）

* 温暖化対策は必ずしも国と合わせていく必要はないと思う。IPCCでも新たな知見が得られており、留意事項の１つに温暖化対策は長期的に進める必要があるという内容も含めて欲しい。
* 地球温暖化対策はネガティブに書かれているなという印象をもたれると不本意なので、不確定要素はあるが努力するといったこと等の内容を加えてはどうか。
* 留意すべき事項、不確定要素の問題、具体的に取組まなければならない課題等の整理をして、文章の再構成を検討していただきたい。

#### B)　 地球温暖化対策とヒートアイランド現象の性格の違い

* ヒートアイランド対策は温暖化の適応策としての位置づけだと思うので、この2つを明確に分けて書かずに、両方大切であるという書き方に異論はない。しかし温暖化に比べ、ヒートアイランド現象はローカルな問題のため、性格の異なるものが入り混じっているという印象を受ける。
* 温暖化とヒートアイランドは本来性格の異なるものではあるが、大阪府としては同時に取組むということなので、その上での不確定要素を整理して書いていただきたい。（ヒートアイランド現象はローカルな問題であるため、国の動向にかかわらず着実に実施する必要があるなど）。
* 国際的な動向の文言について、これまでご意見を頂いている委員には、今回も意見を求めること。

### II　今後の地球温暖化対策と取組の方向性

#### A)　運輸部門対策

* 運輸部門は，モニタリングできる相応しい指標がなく，観測可能なものとして「エコカーの割合」のみとなったと認識しているが、指標化されていないので重要ではないと捉えられないようにするために、都合により指標化できなかった取り組みについても何らか言及したほうが望ましい。

#### B)　再生可能エネルギー、省エネルギー機器等の普及促進

* 対策の内容は全般的にまとめていただいているという印象を受ける。
* 省エネルギー機器推進はCO2削減のポテンシャルが高く、様々な施策とも関連する分野であるが、14ページの現状・課題を読むと、太陽光発電導入がメインで、省エネルギー機器普及は弱い印象を受けるため、併記、または別立てで書いてもよいのではないか。
* 事業者との協力が必要という点は様々なところで部分的に記述されているが、住宅関連の施策については特に重点的に記述した方がよいので、事業者との協力体制促進については大きな項目立てをしていただけないか。
* 太陽光発電量の導入量のみデータ収集が可能というのは少し問題があるので、可能な範囲でデータ収集および状況把握ができる仕組みをつくってもらいたい。

#### 全体的な意見

* 利用促進など抽象的な表現ではなく、具体的な例などを示した方がよい。現在すぐには加えるべき具体例も出てこないため、期間を設け、次回の部会に向けて具体的な意見を委員から提出し、事務局側で検討するという流れにしてはどうか。
* 報告書の内容が多岐に及ぶ中，この表は総括する上でわかりやすい。一方で達成状況が”×”になったもののうち，背景が変わったものもあると思うので、第三者から不本意な受け止められ方をされないようにするため、その要因を備考で加筆しておいたほうがよい。

### III 今後のヒートアイランド対策について

#### 温暖化対策との整理

* Ⅲ今後のヒートアイランド対策について書かれている内容と、Ⅱ2（4）⑨b今後の取組方向に記載されているヒートアイランド対策の内容は、どのような関係にあるのか。
* 人工排熱の低減ついては、地球温暖化対策と内容的につながっている対策であるので、地球温暖化対策と連携して取組むような見せ方をした方がよい。
* 進行管理及び推進体制について、地球温暖化対策とヒートアイランド対策の記載にズレがある。協働して進める必要があるので、整理してもらいたい。

#### 風

* 風の対策は非常に重要である。海風を意識した風の道の形成や、みどりの風促進区域の考え方を前面に出して頂きたい。今の段階では無理だと思うが、今後、検討していくことは必要である。
* 都市形態の改善のところに、風というキーワードを入れて頂きたい。

### IV 今後の制度のあり方について

#### 熱負荷計算モデル

* 熱負荷計算ソフトで昼間と夜間の顕熱量を評価できるのかということと、出てきた結果をどう評価するのか、ということを検討しておく必要がある。
* 量的な数値は出てくる。また標準的な設計パターンを入力すれば、それが多いいのか少ないのかは、評価できる。

#### 文章表現

* 現在の前文の表現では、本部会で検討した内容が、Ⅳ今後の制度のあり方について書かれていることだけだと受け取られる可能性があるので、Ⅱ、Ⅲで書かれていることについても重要な取組みであるということが、わかるような記載としてもらいたい。
* 今回は計画の１つ１つを具体的に見直す部会であり、条例については全般的に見直す部会ではなかったと思うが、地球温暖化の現状を考えると、他の項目も含めて、今後、全般的に見直す機会が別途必要である。
* 建物の高温化抑制という表現で問題なければ良いが、高温化抑制という題名は、一般的にわかりにくいので、実際の内容が見える題名にした方が望ましい。

#### 全体的な意見

* 例えば、地球温暖化対策では重点対策における目標値の達成状況とあるが、ヒートアイランド対策では対策の取組状況と異なる記載になっている。見たときに別々のものがあるように見えるので、整合性を持たせた方がよい。
* １つのレポートとして出て行くので全体としての整合性に配慮すること。
* 委員から具体的にこう書いた方がよいという提案があれば、9月21日までに事務局まで提出して頂く。